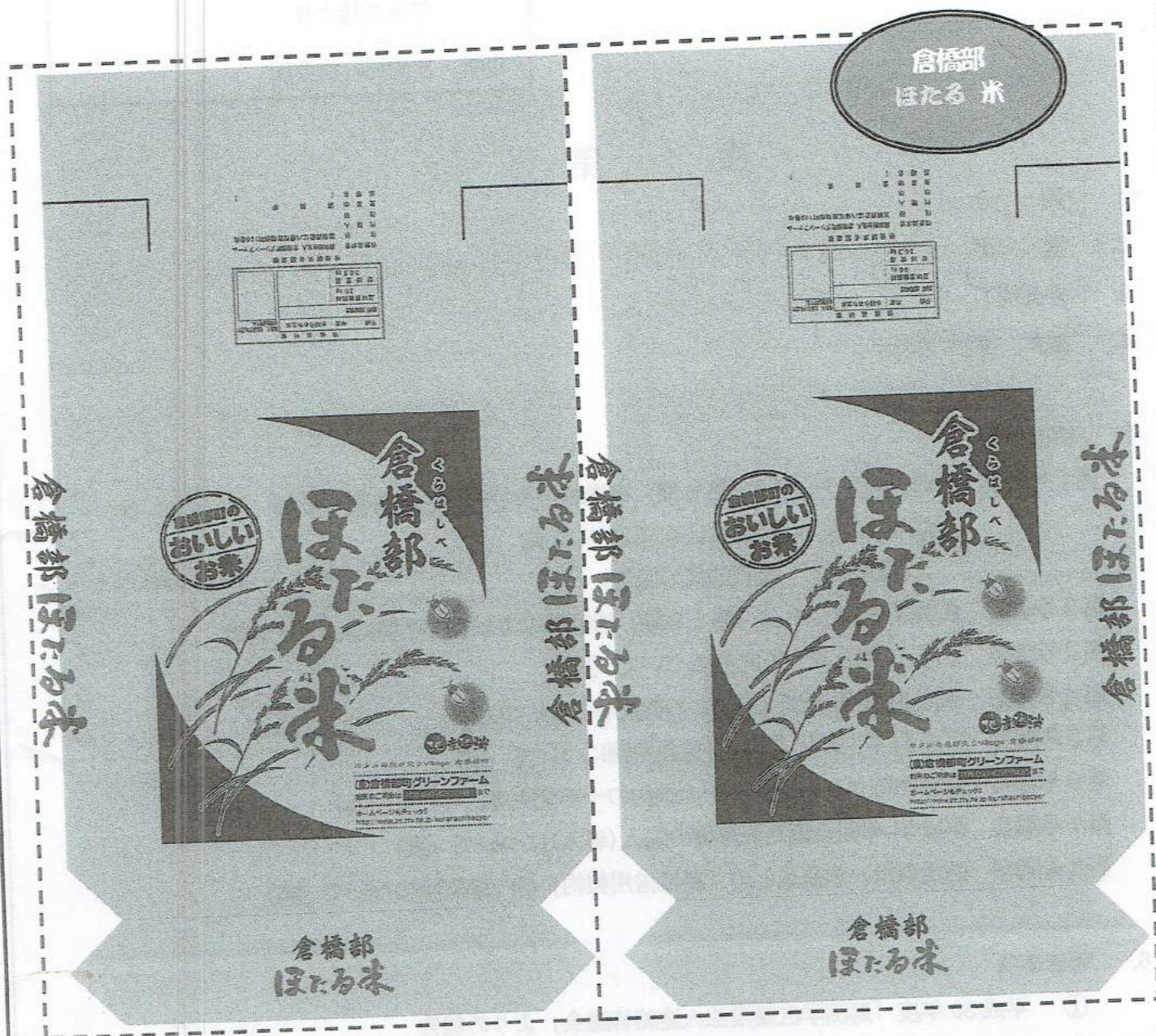


農事組合法人 倉橋部町グリーンファーム

第9期 通常総会資料



☆全組合員ご参集願います。

- ・日時 : 平成31年(2019年)2月23日(土)
午後3時より
- ・場所 : 倉橋部町集会所

誤字・脱字お許し

〔倉橋部町の農地は倉橋部町で守る!〕 〔次世代の為に新しい農業を構築しよう!〕

農事組合法人 倉橋部町グリーンファーム第9期通常総会

・日時 平成31年(2019年)2月23日(土)

午後3時より

・場所 倉橋部町集会所

次 第

1. 開 会

2. 挨拶

3. 来賓挨拶 *美幸 美幸*

4. 議長、書記の選出

5. 協議事項

第1号議案 倉橋部町グリーンファーム(第9期)事業報告及び剰余金処分案の承認 について(案)
平成30年組合(決算)主要事項(分析結果)

《監事より 監査結果の報告》

第2号議案 倉橋部町グリーンファーム(第10期)活動基本方針及び予算について(案)

第3号議案 平成31年産米の販売先について(案)

第4号議案 平成31年飯用米(玄米)の斡旋等について(案)

第5号議案 平成31年(第10期)組合役員報酬について(案)

第6号議案 倉橋部町グリーンファーム規約の一部変更等について(案)

第7号議案 平成31年組合固定資産等の購入(導入)について(案)

第8号議案 滋賀県担い手基金との「農地借用契約」の一部解除について(案)

6. 報告事項

- ① 平成30年度「馬淵学区農業法人連絡協議会」よりの報告
- ② 平成31年特別出夫申請書提出者一覧・出夫免除申請書提出者一覧
- ③ 平成31年標準出夫時間数一覧(目安時間)
- ④ 平成31年関係役員等一覧
- ⑤ 組合員別出資金額等一覧
- ⑥ 組合支払項目一覧
- ⑦ 平成31年産水稻作付圃場
- ⑧ 平成31年班別管理区域

7. 閉 会

以上

【第1号議案】

(農)倉橋部町グリーンファーム(第9期)事業活動報告及び剰余金処分案の承認について(案)

1. 総会

①. 通常総会 平成30年2月25日(日)午後3時30分より 倉橋部町集会所にて

協議事項

- 第1号議案 倉橋部町グリーンファーム(第8期)事業活動報告及び剰余金処分案の承認について(案)
《監事より監査結果の報告》
- 第2号議案 倉橋部町グリーンファーム(第9期)活動基本方針及び予算について(案)
- 第3号議案 「組合労務専任担当者」に対する新たなる支援対応について(案)
- 第4号議案 平成30年産米の販売先について(案)
- 第5号議案 平成30年産米の受検について(案)
- 第6号議案 平成30年度飯用米(玄米)の斡旋等について(案)
- 第7号議案 次期役員(平成30・31年度)の選任並びに組織の一部変更について(案)
- 第8号議案 倉橋部町グリーンファームの規約一部変更等について(案)
- 第9号議案 平成30年度(第9期)組合役員報酬について(案)
- 第10号議案 平成30年度組合固定資産等の購入(導入)について(案)
- 第11号議案 川部浅義さん・西川保恵さんの組合への加入について(案)
- 第12号議案 組合員の預り金・出資金の持分割合の統一について(案)
- 第13号議案 JAグリーン近江における組合員資格の変更について(案)

報告事項

- ・平成29年度「馬淵学区農業法人連絡協議会」よりの報告
- ・平成30年度特別出夫申請書提出者一覧・出夫免除申請書提出者一覧
- ・平成30年度標準出夫時間数一覧(目安時間)
- ・平成30年度関係役員等一覧
- ・組合支払項目一覧
- ・平成30年産水稻作付圃場
- ・平成30年度班別管理区域

2. 監査役会

平成30年度組合決算の監査等

(日 時) 平成30年2月16日(金) 19:30~22:30

(出席者) 監査役(小梶忠司)、監査役(村地庄一)、組合長(村地佐紀雄)、総務部長(村地忠治郎)、総務副部長(村地眞佐典)、吉永会計事務所(西村伸一郎)

3. 経営役員会

①. 平成30年1月19日(金) (時間)20:00より (場所)倉橋部町集会所

〈協議・報告事項〉

- ・平成29年度決算について
- ・その他

②. 平成30年1月29日(月) (時間)20:00より (場所)倉橋部町集会所

〈協議・報告事項〉

- ・組合労務専任担当者に対する支援対応について
- ・その他

③. 平成 30 年 3 月 30 日(金) (時間)20:00 より (場所)倉橋部町集会所

〈協議・報告事項〉

- ・ 水稻作業について
- ・ 組合長の変更に伴う変更事項等について
- ・ その他

④. 平成 30 年 5 月 20 日(日) (時間)19:30 より (場所)倉橋部町集会所

〈協議・報告事項〉

- ・ 水稻作業について
- ・ 小麦関係について
- ・ 大豆関係について
- ・ その他

⑤. 平成 30 年 6 月 25 日(月) (時間)20:00 より (場所)倉橋部町集会所

〈協議・報告事項〉

- ・ 水稻作業について
- ・ 大豆作業について
- ・ 上期労務時間集計について
- ・ 農作業受委託契約等について
- ・ その他

⑥. 平成 30 年 8 月 7 日(火) (時間)20:00 より (場所)倉橋部町集会所

〈協議・報告事項〉

- ・ 水稻作業について
- ・ 大豆作業について
- ・ 乾燥調製について
- ・ その他

⑦. 平成 30 年 9 月 23 日(日) (時間)20:00 より (場所)倉橋部町集会所

〈協議・報告事項〉

- ・ 今後の水稻作業について
- ・ 小麦作付けについて
- ・ その他

⑧. 平成 30 年 11 月 23 日(金) (時間)19:30 より (場所)倉橋部町集会所

〈協議・報告事項〉

- ・ 水稻、大豆、小麦関係について
- ・ H30 組合決算精算について
- ・ H30 飯用米申込について
- ・ その他

⑨. 平成 30 年 12 月 1 日(土) (時間)19:30 より (場所)倉橋部町集会所

〈協議・報告事項〉

- ・ H30 組合決算精算について
- ・ その他

平成30年度の概要

1. 水稻の品種別状況

品 種	作付面積 (a)	田植え 株数	1反当たり の苗箱数	施肥体系	フレコン (900kg)	端数	玄米袋数 (30kg)	1反当りの俵数	くず米 (30kg袋)	備 考
コシヒカリ(環境)	329.5a	60株	18枚	分施肥	10袋	810.0kg	239袋	8.59俵	89袋	1等
キヌヒカリ	314.3a	60株	18枚	元肥—発型	3袋	350.0kg	499袋	9.56俵	43袋	2等
日本晴	159.0a	60株	18枚	元肥—発型	6袋	161.0kg	105袋	9.13俵	19袋	1等
秋の詩(環境)	257.3a	60株	18枚	分施肥	10袋	25.7kg	200袋	9.73俵	28袋	1等
みずかがみ	264.2a	70株	21枚	分施肥	5袋	8.4kg	276袋	8.07俵	14袋	1等
合 計	1,324.3a				34袋	1355.1kg	1,319袋	9.00俵	193袋	

2. 過去との比較(水稻)

品 種	年度別作付面積(a)				年度別肥料施肥体系				年度別反収(俵)				備 考
	27年度	28年度	29年度	30年度	27年度	28年度	29年度	30年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
コシヒカリ(環境)	410.8	368.9	358.9	329.5	分施肥	分施肥	分施肥	分施肥	7.94	9.21	8.23	8.59	
キヌヒカリ	190.2	244.5	214.7	314.3	—発型	—発型	分施肥	—発型	8.51	8.81	9.01	9.56	
日本晴	256.6	154.0	238.0	159.0	—発型	—発型	分施肥	—発型	8.57	8.57	8.59	9.13	
秋の詩(環境)	244.5	337.4	314.6	257.3	—発型	分施肥	分施肥	分施肥	8.99	9.45	8.44	9.73	
みずかがみ	193.0	175.8	250.6	264.2	分施肥	分施肥	分施肥	分施肥	8.03	8.39	8.20	8.07	
合 計	1295.1	1280.6	1376.8	1324.3					8.41	8.88	8.46	9.00	

3. 小麦の状況

年 産	品 種	作付面積(a)	作業体系	施肥体系	出来高重量(kg)	1反当りの収量(kg、俵)	備 考
30年度	農林61号	696.3a	事前整地・弾丸	分施肥	37,139.5kg	533kg 8.80俵	1等
29年度	農林61号	624.6a	事前整地・弾丸	分施肥	20,134kg	322kg 5.37俵	1等
28年度	農林61号	720.8a	事前整地・弾丸	分施肥	19,340kg	268kg 4.46俵	1, 2等
27年度	農林61号	706.3a	事前整地・弾丸	一発型	19,588kg	277kg 4.61俵	2等

4. 大豆の状況

年 産	品 種	作付面積(a)	平均水分	防除体系	出来高重量(kg)	1反当りの収量(kg、俵)	備 考
30年度	タマホマレ	696.3a	16.7	液剤2回、ヘリ1回	15,324Kg	220.0Kg(3.60俵)	
29年度	タマホマレ	624.6a	14.2	液剤2回、ヘリ1回	15,024Kg	240.5Kg(4.00俵)	
28年度	タマホマレ	720.8a	15.3	液剤1回、ヘリ1回	15,529Kg	215.4Kg(3.59俵)	
27年度	タマホマレ	706.3a	13.33	粉剤1回、ヘリ1回	17,215kg	243.7kg(4.06俵)	

5. 転作(水稻生産調整)

年 度	転作目標		転作実績		備 考
	面積(a)	転作率(%)	面積(a)	転作率(%)	
平成31年度	695.1	34.4	707.2	35.0	転作目標数値は達成しました
平成30年度	693.1	34.3	696.3	34.5	転作目標数値は達成しました
平成29年度	696.0	34.8	624.6	31.2	加工米(129袋)にて対応
平成28年度	686.7	34.3	720.8	36.0	転作目標数値は達成しました

平成30年度 事業実績報告

農機具・施設管理部

施設点検 10月12日(機械部)

圃場高低修正 12月

トラクター、田植機保守 年間通じて随時

コンバイン保守 小麦・水稻の刈り取り前・後に随時

修理関係 ディスクローター ディスク交換 217,096円 6月
 フォークリフト自主点検(TCM) 86,400円 11月5日
 トラクターKL415 エアコンガス 6,000円 6月 坂田電気
 (小修理は除く)

処分 リアバック 15,000円 1月 プレジャー

購入関係 コンバインAE447刈刃 38,880円 5月 全農
 ツーウェイローター爪一式 74,866円 5月 全農
 ハロー爪一式 2台 149,363円 5月 全農
 ハロー爪ボルト一式 2台 59,960円 5月 全農
 スタンドバッグ 3袋 118,260円 6月 ナカエ
 コンバインAE570用Eオイル、ギアオイル 35,000円 6月全農
 トラクターショベル 199,000円 8月 ナカエ
 播種機用除草剤散布機一对 220,000円 12月 全農
 播種機用車輪一对 114,480円 12月 全農

免税軽油使用量 3,000リットル (免税32.1円/ℓ)
 (29年度 3,200リットル)
 (28年度 3,400リットル)
 (27年度 3,000リットル)

当面の予定と課題(案)

補修関係 平成30年の代掻きまでに補修(3月に予定)
 土手、暗渠パイプ、畦畔ブロック等の点検補修

購入関係 8条田植機 21年式 10年経過
 トラクターKL415 21年式 10年経過 2,763h
 トラクターKL34R 23年式 8年経過 2,458h
 (上記3件の更新が必要となっている。)

当年度実績書

平成30年度

監査報告書・説明書

第9期

決算報告書

平成30年 1月 1日から

平成30年12月31日まで

(8月1日現在) 1,000,000円

(12月31日現在) 1,000,000円

(12月31日現在) 1,000,000円

(12月31日現在) 1,000,000円

(案) 結果の要約

(8月1日現在) 1,000,000円

結果の要約

農事組合法人 倉橋部町グリーンファーム

(法人番号:1160005007404)

商号 農事組合法人 倉橋部町グリーンファーム

類	科	目	金	額
---	---	---	---	---

7

平成30年 1月 1日から
平成30年12月31日まで

商号 農事組合法人 倉橋部町グリーンファーム

(単位：円)

科 目					金 額	
I	売農作	産業	上物受	売託上収	高入	
						19,155,448 630,115
						19,785,563
II	売期当合期売	首期末上	上た農た総	原な業な卸損	価高価計高失	
						287,400 20,845,545 21,132,945 171,600
						20,961,345 1,175,782
III	販売費及及び一一般管理費費失	販売費及及び一一般管理費費失	販売費及及び一一般管理費費失	販売費及及び一一般管理費費失	販売費及及び一一般管理費費失	
						2,681,762
IV	営受受雑	業取取	外配収	収利当	益息金入	
						10,518 300 11,068,593
						11,079,411
V	営営	業業	外外	費費	費用	
						0
VI	経特特	常別別	利利	益益	益益	
						7,221,867
						0
VII	特別損失	特別損失	特別損失	特別損失	特別損失	
						2,300,000
						2,300,000
						4,921,867 138,871
						4,782,996
						6,282,723 0
						6,282,723
						5,183,650 800,000
						5,983,650 5,082,069

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成30年 1月 1日から

平成30年12月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
包 装 材 料 費	200,300
販 売 手 数 料	843,645
役 員 報 酬	571,500
厚 生 費	281,415
事 務 用 消 耗 品 費	45,886
通 信 交 通 費	5,321
水 道 光 熱 費	16,700
租 税 公 課	30,900
接 待 交 際 費	5,000
備 品 ・ 消 耗 品 費	9,846
諸 会 費	110,100
支 払 手 数 料	503,366
雑 費	57,783
合 計	2,681,762

たな卸資産の計算内訳

平成30年12月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
製 品	171,600
未 収 穫 農 産 物	451,306
合 計	622,906

農業原価報告書

平成30年 1月 1日から

平成30年12月31日まで

(単位：円)

科 目		金 額
I 材 料 費		
期首材料たな卸高		0
種苗費・諸材料費		2,238,046
肥料・農業費		4,712,145
合計		6,950,191
期末材料たな卸高		0
当期材料費		6,950,191
II 労 務 費		
賃金		371,445
当期労務費		371,445
III 経 費		
電力		21,783
動力		682,545
減価償却		4,255,871
修繕		422,202
租税公課		185,400
地代・賃借料		3,860,617
公共・保険料		663,378
消耗品費		769,590
水利費		968,930
施設利用料		1,729,814
雑費		992
当期経費		13,561,122
当期総農業費用		20,882,758
期首仕掛品たな卸高		414,093
合計		21,296,851
期末仕掛品たな卸高		451,306
当期農業原価		20,845,545

剰 余 金 処 分 案

(単位：円)

I 当期末処分利益		5,082,069
II 任意積立金取崩額		0
計		5,082,069
III 利益処分額		
利益準備金	500,000	
従事分量配当	4,545,175	5,045,175
IV 次期繰越利益		36,894

以上のとおり提出する。

平成 31 年 2 月 23 日

商号 農事組合法人 倉橋部町グリーンファーム

理事組合長 村地 清 広	理 事 村地 源次郎
	理 事 村地 忠治郎
	理 事 村地 辰幸
	理 事 竹岡 延良
	理 事 古株 寛幸
	理 事 村地 孝
	理 事 村地 栄一

監査の結果、貸借対照表、損益計算書および利益処分について、いずれも適法かつ正確であることを認める。

平成 31 年 2 月 15 日

監 事 小 梶 忠 司
同 村 地 庄 一

監査結果報告

平成30年倉橋部町グリーンファームの会計及びその他関連事項につき、
その帳簿類、関係書類を綿密に監査し代表理事組合長及び関係者より説明を
受けました結果、いずれも正確なる処理がなされていることを認めます。

平成31年 2月 15日

監査役 小 梶 忠 司 

監査役 村 地 庄 一 

比較損益計算書

農事組合法人 倉橋部町グリーンファーム

コード	勘定科目名	30年(第9期)	29年(第8期)	28年(第7期)	27年(第6期)	26年(第5期)	差額(10-9)
4111	農産物売上高	19,155,448	19,740,077	18,788,221	15,757,939	13,834,083	-584,629
	水稻	16,848,354	17,115,352	15,497,654	13,010,462	11,825,198	-266,998
	小麦	752,083	350,629	303,928	564,631	840,172	401,454
	豆類	1,555,011	2,274,096	2,986,639	2,182,846	1,168,713	-719,085
4112	作業受託収入	630,115	628,491	528,317	538,056	277,626	1,624
	純売上高	19,785,563	20,368,568	19,316,538	16,295,995	14,111,709	-583,005
5412	種苗費	2,238,046	2,040,183	2,041,796	2,066,672	1,787,620	197,863
5414	肥料・農薬費	4,712,145	4,069,784	4,381,926	4,004,122	4,304,904	642,361
	肥料費	2,643,974	2,080,115	2,256,643	2,144,347	2,192,405	-176,528
	農薬費	2,068,171	1,989,669	2,125,283	1,859,775	2,112,499	-135,614
5434	棚卸調整	78,587	31,942	0	0	0	46,645
5451	電力費	21,783	139,694	58,591			-117,911
5452	動力燃料費	682,545	554,610	497,700	333,826	443,702	127,935
5455	減価償却費	4,255,871	3,514,790	2,275,101	3,700,059	2,820,238	741,081
5456	修繕費	422,202	353,384	555,796	672,021	1,361,934	68,818
5457	租税公課	185,400	295,700	20,000	20,426	20,000	-110,300
5458	地代・賃借料	184,711	196,439	177,067	59,074	94,722	-11,728
5459	共済・保険料	663,378	750,381	613,199	596,044	650,389	-87,003
5461	消耗品費	769,590	1,035,023	1,183,123	96,913	48,309	-265,433
5462	水利費	968,930	968,930	968,930	928,600	905,550	0
5463	施設利用料	1,729,814	1,419,700	1,676,375	3,459,727	3,145,678	310,114
5467	雑費	992	102,000	25,380	11,600	16,000	-101,008
	農業原価合計	16,913,994	15,472,560	14,474,984	15,949,084	15,599,046	1,441,434
	差引利益	2,871,569	4,896,008	4,841,554	346,911	-1,487,337	-2,024,439
6113	広告宣伝費	0	0	8,607			0
6116	販売手数料	843,645	833,724	478,349	99,550	20,370	9,921
6114	包装材料費	200,300	248,754	187,282	52,072	25,240	-48,454
6226	厚生費	281,415	57,955	51,604	37,844	139,831	223,460
6214	減価償却費	0	0	0	0	0	0
6216	修繕費	0	0	20,000	10,000	63,000	0
6217	事務用消耗品費	45,886	81,827	89,080	178,709	61,764	-35,941
6218	通信交通費	5,321	15,193	6,752	1,262	3,936	-9,872
6219	水道光熱費	16,700	12,876	4,447			3,824
6221	租税公課	30,900	27,600	39,600	15,546	15,938	3,300
6223	接待交際費	5,000	15,000	5,528	24,126	7,417	-10,000
6225	備品・消耗品費	9,846	16,667	0	0	12,259	-6,821
6228	諸会費	110,100	90,764	155,277	33,135	123,938	19,336
	倉庫関係費用	0	0	787,424			0
6229	支払手数料	503,366	480,200	485,477	404,360	446,568	23,166
6231	雑費	57,783	118,022	34,481	447,108	36,360	-60,239
	販売費及び一般管理費計	2,110,262	1,998,582	2,353,908	1,303,712	956,621	111,680
	営業利益(損失)	761,307	2,897,426	2,487,646	956,801	-2,443,958	2,136,119
7111	受取利息割引料	10,518	10,829	3,538	3,520	3,345	-311
7114	受取配当金	300	300	300	300	360	0
7118	雑収入	11,068,593	12,639,457	21,178,219	18,904,598	9,483,459	-1,570,864
	営業外収益計	11,079,411	12,650,586	21,182,057	18,908,418	9,487,164	-1,571,175
7511	支払利息	0	0	0	0	17,750	0
7519	雑損失	0	0	0	0	0	0
	営業外費用計	0	0	0	0	17,750	0
	経常利益(損失)	11,840,718	15,548,012	23,669,703	17,951,617	7,025,456	-3,707,294
8111	固定資産売却益	0	0	953,703		0	0
	特別利益計	0	0	953,703			0
8212	経営基盤強化準備金	2,300,000	4,800,000		9,300,000		-2,500,000
8213	国庫補助金圧縮損	0	0	14,637,960			0
	特別損失計	2,300,000	4,800,000	14,637,960	9,300,000		-9,837,960
	当期利益(全体)	9,540,718	10,748,012	9,985,446	8,651,617	7,025,456	762,566
6211	役員報酬	571,500	558,000	578,000	576,000	660,000	13,500
5431	組合員以外賃金	371,445	205,875	91,000	166,421	176,750	165,570
1156	従事分量配当	4,545,175	5,183,650	4,969,740	4,207,430	4,493,865	-638,475
	内追加	(642,900)	(698,000)			0	0
	労務費計	5,488,120	5,947,525	5,638,740	4,949,851	5,330,615	-459,405
5458	地代	3,675,906	3,641,184	3,641,184	3,641,184	3,945,560	34,722
	組合員分配計	9,164,026	9,588,709	9,279,924	8,591,035	9,276,175	-424,883
	法人利益	376,692	1,159,303	705,522	60,582	-2,250,719	-782,611
8311	法人税等	-138,871	-273,918	-160,302	-193,225	159,891	135,047
	消費税	-183,700	-120,800	3,075,791	312,525	321,822	-62,900
9111	決算書当期利益	4,782,996	6,069,035	5,514,960	4,387,312	2,724,859	1,286,039

補助金の明細 30年

2019/2/21 7:14

入金日	No.	年産	交付金名称	通知金額	部門				計算根拠			29年分	28年分
					全体	米	麦	大豆	対象面積a	単価/10a	明細		
H30.3.23	74	29	水田活用の直接支払交付金	1,103,293				1,103,293	624.0	35,000	二毛作	1,080,000	1,059,000
				389,516		12,496	377,020				産地資金	689,760	704,729
				1,492,809								1,769,760	1,763,729
H302.28	50	29	水田活用の直接支払交付金	142,000		142,000					加工米		
H30.3.28	81	29	畑作物の直接支払交付金	488,289				488,289			数量払い	1,605,764	1,837,692
H30.8.31	181	30		1,392,000			1,392,000		696.0	20,000	営農継続	1,248,000	1,440,000
H30.12.21	257	30	畑作物の直接支払交付金	1,392,000				1,392,000	696.0	20,000	営農継続	1,248,000	1,440,000
				2,784,000								2,496,000	2,880,000
H30.11.30	239	30	畑作物の直接支払交付金	2,178,899			2,178,899				数量払い	942,083	193,975
			米の直接支払交付金	0								971,250	952,500
H30.12.3	241	30	水田活用の直接支払交付金	2,436,000			2,436,000		696.0	35,000	基幹作物	2,184,000	2,520,000
H30.3.30	84	29	環境保全型農業直接支払交付金	739,200		739,200						705,600	678,400
H30.6.29	143	30	収入減少影響緩和交付金	311,048	311,048							852,336	1,199,748
			30年	10,572,245	311,048	893,696	6,383,919	2,983,582				11,526,793	17,833,794
			29年	11,526,793	3,163,700	971,250	4,711,043	2,680,800					
			28年	12,026,044	0	2,830,648	4,505,704	4,689,692					
			差額(30年-29年)	-954,548	-2,852,652	-77,554	1,672,876	302,782					

31年見通し	0	0	
--------	---	---	--

◎平成30年度組合(決算)主要事項(分析結果)

①. 農産物売上高分析

1/26

科目	平成30年度(a)	平成29年度(b)	平成28年度	(a) - (b)
8-46 → 9/12 水稻	16,848,354 円	17,115,352 円	15,497,654 円	△266,998 円
小麦	752,083 円	350,629 円	303,928 円	401,454 円
大豆	1,555,011 円	2,274,096 円	2,986,639 円	△719,085 円
計	19,155,448 円	19,740,077 円	18,788,221 円	△584,629 円

②. 水稻収穫量

平成30年度(a)	平成29年度(b)	平成28年度	(a) - (b)
2,384 袋	2,328 袋	2,308 袋	56 袋の増
9.00 俵/反	8.46 俵/反	9.01 俵/反	0.54 俵/反 の増

③. 飯用米数

平成30年度(a)	平成29年度(b)	平成28年度	(a) - (b)
1,180 袋	1,030 袋	869 袋	150 袋の増

④. JA 預金残高の推移(12 月末)

平成30年度	平成29年度	平成28年度
32,996,690 円	30,858,862 円	23,749,854 円
(主な取得固定資産) ・フレコン自動計量機 購入: 111 万円 ・トラクタショベル 購入: 24 万円 (計) 135 万円	(主な取得固定資産) ・2tトラック(中古) 購入: 185 万円 ・軽トラック(中古) 購入: 52 万円 ・A棟増設工事: 54 万円 (計) 237 万円	(主な取得固定資産) ・新格納庫: 2,818 万円 ・コンバイン5条刈: 922 万円 ・乗用管理機: 262 万円 ・穀物乾燥機等 60 石一式 : 304 万円 ・精米・飯用米保冷庫一式 : 175 万円 (計) 4,481 万円

⑤. 組合借入金の推移(12 月末) ※当初借入額: 2600 万円

平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
18,830,000 円	21,220,000 円	23,610,000 円	0 円

⑥. 組合損益の推移(12月末)

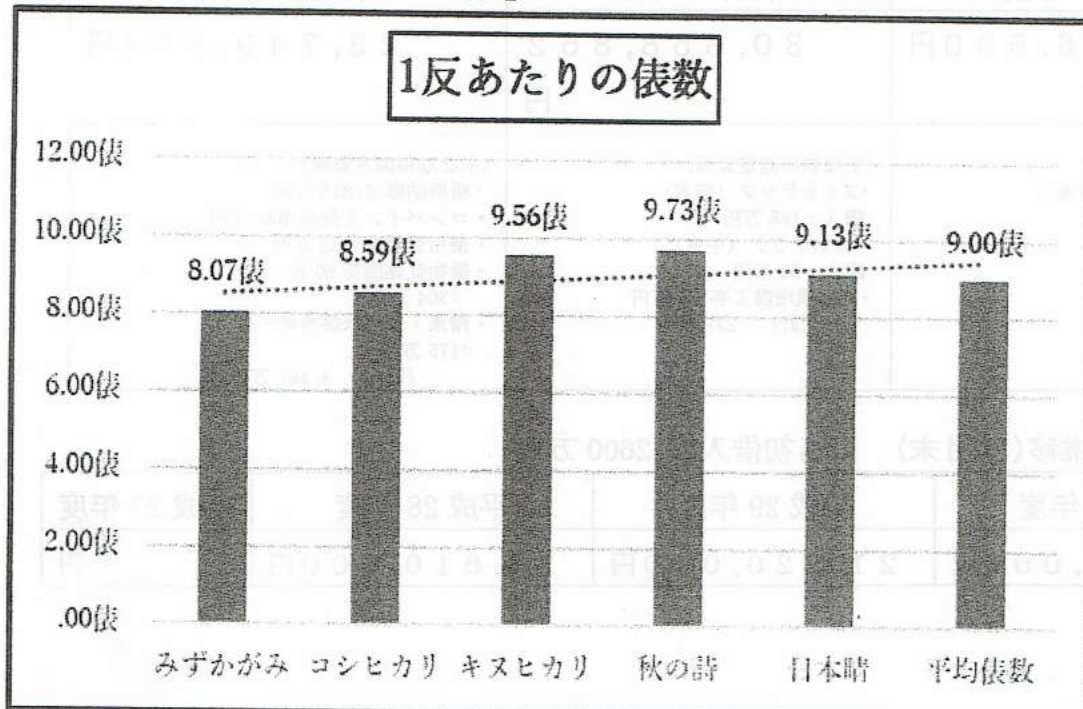
	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度
営業利益(損失)	761,307 円	2,897,426 円	2,487,646 円	△956,801 円
経常利益(損失)	11,840,718 円	15,548,012 円	23,669,703 円	17,951,617 円
決算書当期利益金	4,782,996 円	6,069,035 円	5,514,960 円	4,387,312 円

⑦. 経営基盤強化準備金の積立

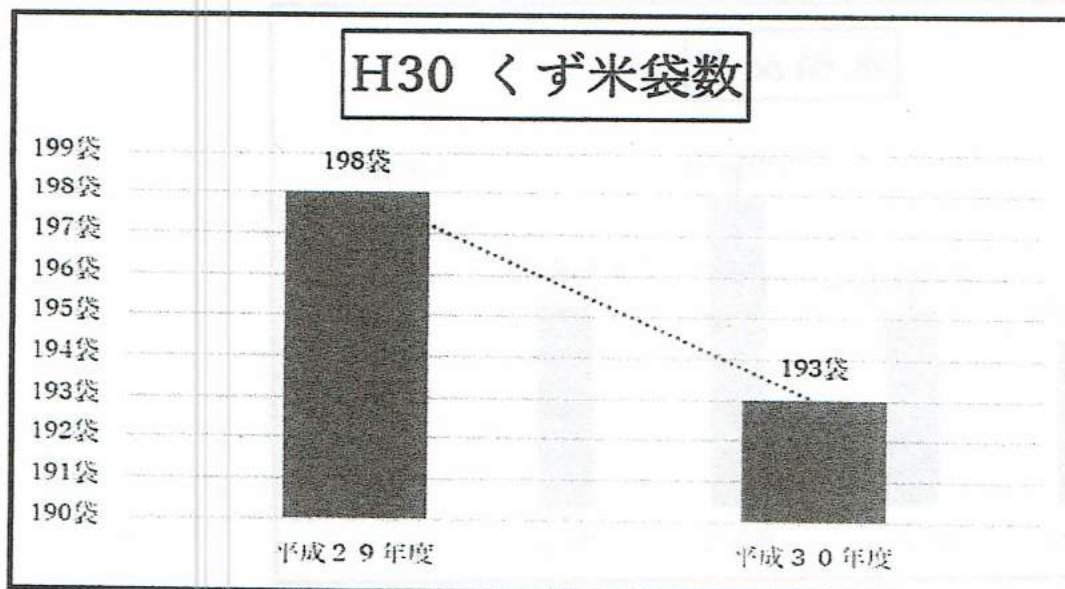
農機具等の更新ならびに決算節税対策として、経営基盤準備金に 230 万円計上致します。

年度	積立額	取崩額	準備金残高
平成 27 年度	9,300,000 円		9,300,000 円
平成 28 年度			9,300,000 円
平成 29 年度	4,800,000 円		14,100,000 円
平成 30 年度	2,300,000 円		16,400,000 円

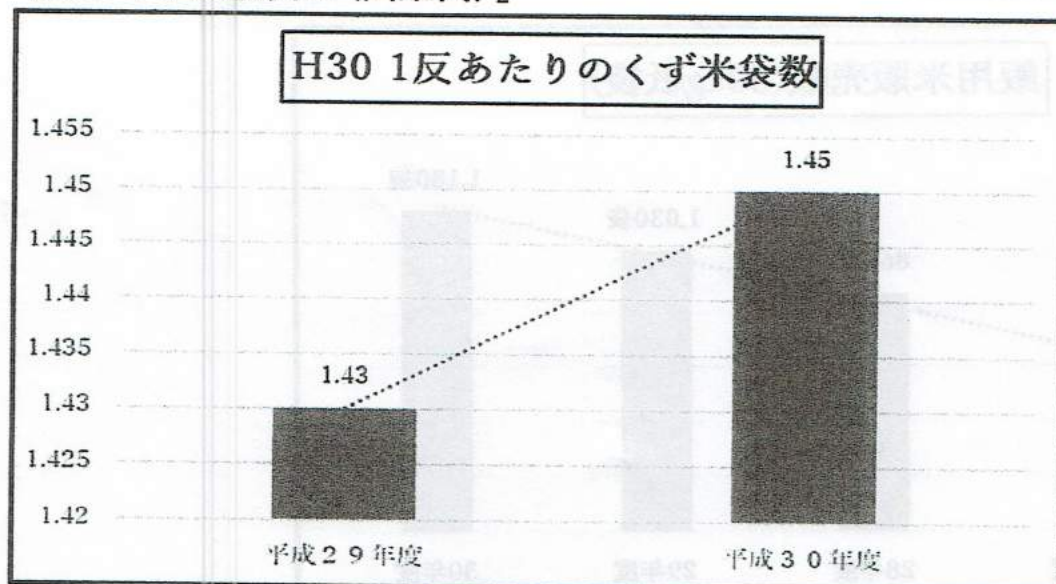
【H30 品種別 1 反当たりの俵数】



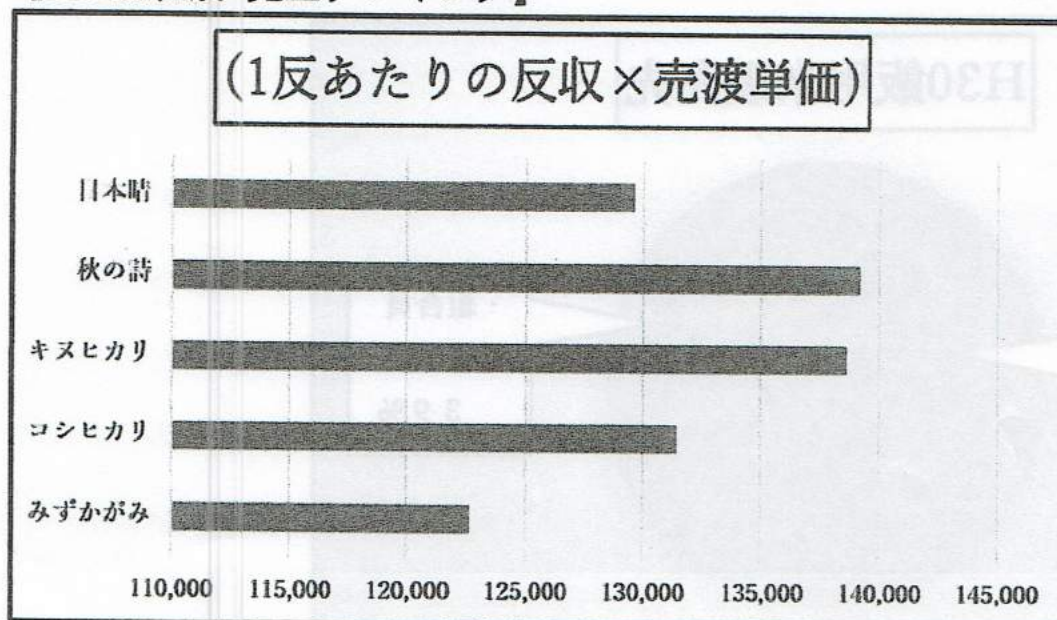
【H30 くず米検討Ⅰ (袋数)】



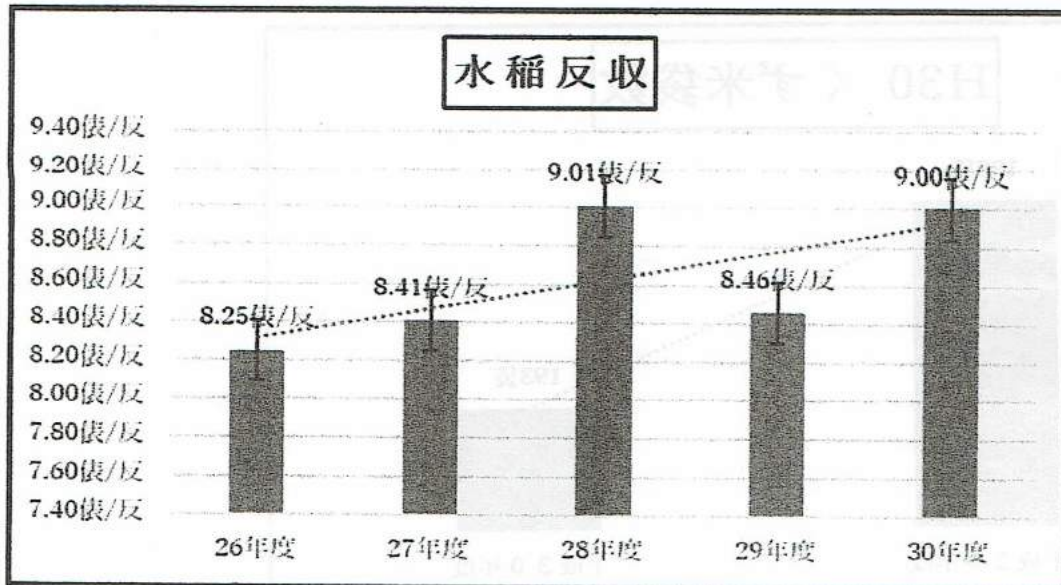
【H30 くず米検討Ⅱ (出来高)】



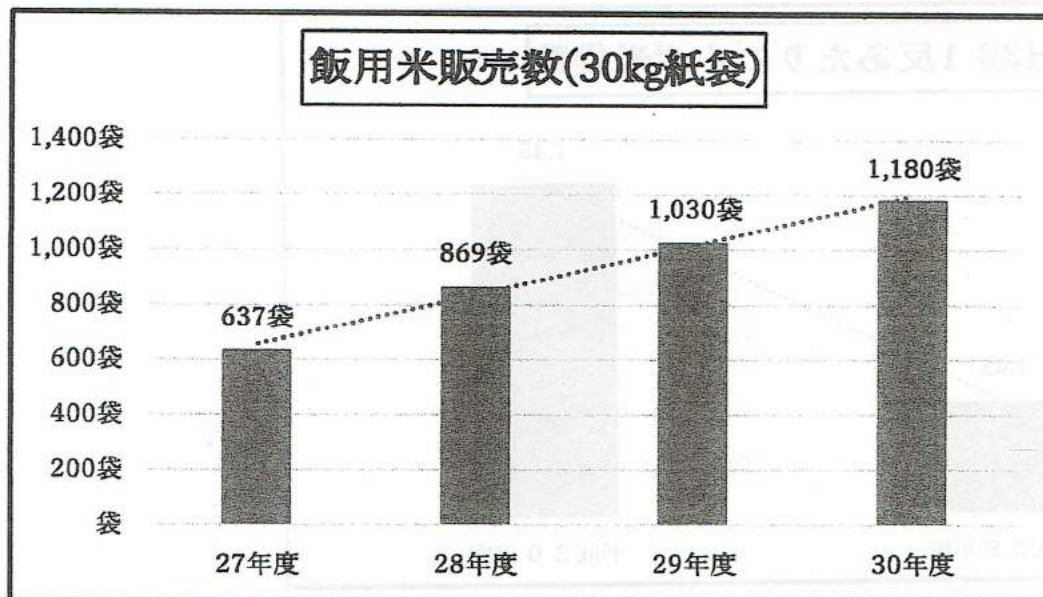
【H30 品種別 売上ランキング】



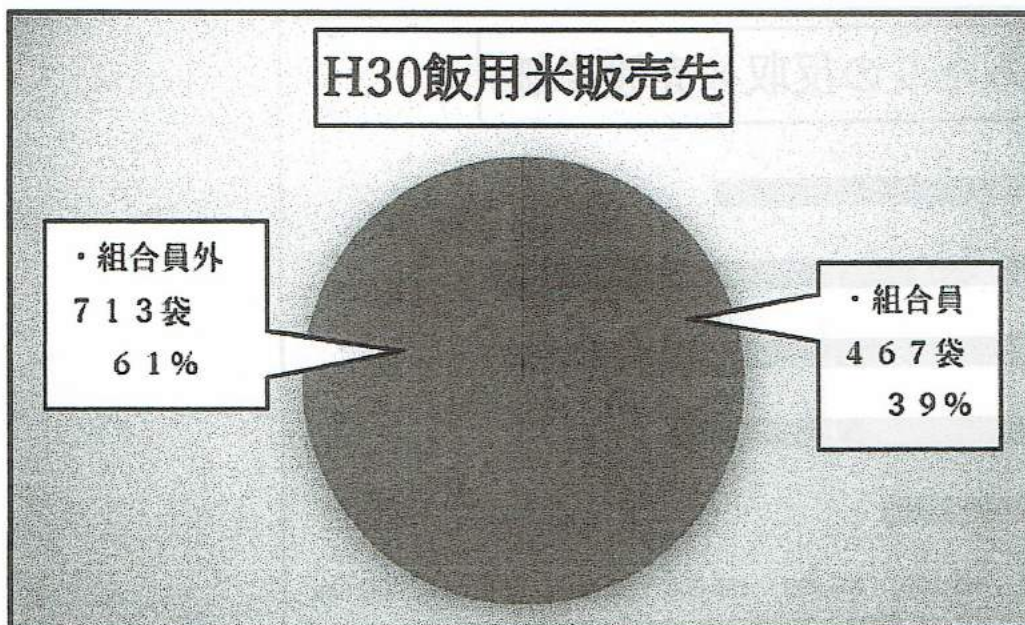
【H26～H30 水稻反収(俵数)】



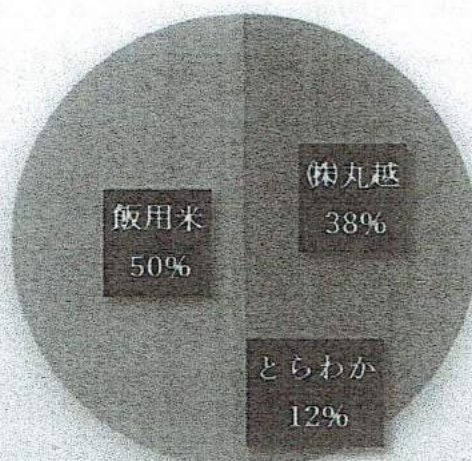
【H27～H30 飯用米販売数】



【H30 飯用米販売先】



H30米販売先



以上

① . 従事分量配当金

平成 30 年度決算における従事分量配当金を次により支払いたく提案いたします。

- ・ 労務費支払額の残金(4 割) 400 円/時間 →→→ 1, 2 8 5, 8 0 0 円(A)
- ・ 水稻育苗代金の残金(4 割) →→→→→→→→→ 3 5, 5 1 0 円(B)
- ・ 労務費に対する追加払い

(対象労務時間): 3, 399. 75 時間 . . . a

(追加払い単価): 200 円/時間 . . . b

(追加払い額): 679, 950 円 $a \times b$ (C)

支払額 (計)	2, 0 0 1, 2 6 0 円	(A) + (B) + (C)
---------	-------------------	-----------------

«F1» 様

農事組合法人 倉橋部町グリーンファーム

平成 30 年総会確定後従事分量配当金の支払いについて (ご連絡)

平素は、当組合の運営等全般に互にご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、過日の定期総会にて確定いたしました配当に伴い、平成 30 年度従事分量配当における労務費の追加払いと労務費・育苗苗代金の差額を下記によりお支払いいたします。

記

1. 支払予定日

平成 31 年 2 月 28 日 (木)

☆ 貴殿が当組合にご登録頂いている JA グリーン近江の貯金口座に振り込みます。

☆ 貯金印字コメント ⇒ ノウクラハシベチョウグ

2. 支払内容

◎ 労務費 ※組合員員外者は対象外

【上期分 :H29. 12~H30.6】

上期分労務費	支払済額 6割
«F29»円	«F30»円

【下期分 :H30. 7~H30.11】

下期分労務費	支払済額 6割
«F32»円	«F33»円

【今回支払額 4割】(A)

«F35»円

◎ 労務費の追加払い ※労務時間数には「水利手当」・「水稻苗育苗」による換算時間数は含みません。

組合員員外者(給与)も対象

労務時間数	支払単価
«F38»時間	200 円/時間

【今回支払額】(B)

«F39»円

◎ 育苗代金

支払済額: 6割
«F36»円

【今回支払額 4割】(C)

«F37»円

合計支払額 (A) + (B) + (C)
«敬称__略»

◎お問い合わせ先

総務部 村地源次郎(☎090-8821-8026)まで、ご連絡願います。

以上

【第2号議案】

平成31年（第10期）倉橋部町グリーンファーム活動基本方針 ならびに予算について（案）

《活動基本方針》

平成19年2月に『倉橋部の農地は倉橋部で守る!』を合言葉に集落一農場方式による倉橋部町グリーンファームを設立し、その後昨年度はその節目の10年目を迎え、本年はその次のステップを経た2年目にあたります。

新格納庫の建設後、多額の投資（最終投資額：44,815,300円）を行うと共に同時に多額の借入（日本政策金融公庫：2600万円）を行いました。幸いにして昨年度は米価の値上がり、またJA施設利用の見直し、飯用米販売数の増加ならびに米の販売先を独自に探して業者販売に移行した事等により、所定の借入金返済を済ませ会計決算上利益金を計上するに至りました。

利益処分としては、本年も従事分量配当として「労務費の追加払い」（679千円）が挙げられます。

つきましては、今年度売上高・組合収益拡大の一手段として、飯用米販売数を**1,200袋**の大台に乗せるべく 昨年に引き続き**【飯用米販売数の増加運動 !!】**を勧めたく考えておりますので、組合員ひとり一人その必要性を再認識頂き、各段のご協力をお願い致します。

一方で、当組合が抱える最大の課題として後継者の確保があります。今のままでは、この先3年～5年先には切実な現実問題として露呈してしまい、組合の存続にまで波及しかねません。現行JAグリーン近江管内の124法人の内10年後には「経営問題」「後継者問題」等によりその2/3は消滅するとも云われており、当組合も生き残りをかけなければなりません。そのために、経営役員会とは別に委員会（5～6人程度）を立ち上げて組合の進むべき道を模索していきたいと思っています。今一度設立当初の合言葉を思い出していただき組合員のご理解とご協力をお願い致します。

《スローガン》

- ◎倉橋部町グリーンファームは、農業の協働化を通して効率的な農業経営の実現と、組合員共働の利益の増進を図る。
- ◎倉橋部町グリーンファームは、協業集落型経営体（集落一農場）のもと、過去より次世代へ倉橋部町の美田を守り、引き継ぎを図る。

《活動方針》

総務部

- 経営役員会の運営、総会開催における主管部署として役目を果たす。
- 日々の会計処理、PC 入力、确实迅速な決算処理を目指す。
- その他総務事項全般の确实・迅速な処理を目指す。

企画部

- 米の販売における総管理を行う。
- 組合決算における損益等の分析を行う。
- 組合決算における売上高（水稻、麦、大豆）の損益等の分析を行う。
- 組合の規定集の整備を行う。

営農部

- 組合員全員による相互理解のもと、自主性や協力性を高め、新たな農政の展開と併せ、集落ぐるみ（学区内法人）で農地を守る取り組みと農地の総合的な利用を図り、小麦あと大豆の高度利用等へ積極的に取り組む。
- これまでの実績や反省をふまえつつ、作業に応じた協業化と専門性を生かし、農作業の効率化と生産性の向上を図り、より良い品質確保と収穫量のアップにより売れる米づくりをめざす。
- 自前の乾燥調整施設、倉庫等の施設の有効活用をめざす。

平成31年度 倉橋部町グリーンファーム・主な営農作業(案)

平成31年2月23日

月	作業内容	作業時期	作業担当者	摘要
1	大豆後ディスク作業	1月		1月中
2	小麦の穂肥の施肥	2月下旬		
3	肥料、農薬等の配送受	3月上旬	営農部	数量立会い
	中割作業	3月上旬		ディスクロータリーによる
	平面整地作業	3月下旬		ロータリーによる
4	畦塗り	4月上旬		
	土手等の除草	4月下旬	各班割り当て田	水稲田・小麦田
	水入れ	4月下旬	各班 水利担当	暗渠キャップ、尻水戸止水板
	代掻き			田植え予定
5	代掻き	4月下旬～ 5月中旬	別途アンケート方式による 作業割当	秋の詩、みずかがみ (4/30～)
	苗引き取り、田植			コシヒカリ、キヌヒカリ (5/16～)
	畦畔シート入れ	田植後	各班割り当て田	必要に応じて実施
	小麦赤カビ防除	5月上旬	無人ヘリによる散布	病害虫防除協議会に依頼
	ほ場内除草剤の散布	田植後	別途割り当て	
	土手等の除草	5月下旬	各班割り当て田	水稲田・小麦田
6	小麦収穫作業	6月中旬	別途アンケート方式による作 業割当	
	除草剤散布・弾丸暗渠作業	小麦刈取後	別途割り当て	大豆作付予定圃場
	大豆播種作業	小麦刈取後適期	別途アンケート方式による作 業割当	整地～播種～中耕～防除(中耕、防除は数回)
	水稲中干し作業	6月中旬～下旬	各班割り当て田	溝切り機による作業
	土手等の除草	6月下旬	各班割り当て田	水稲田・大豆田
7	穂肥の施肥	6月～7月適期	別途割り当て	みずかがみ、コシヒカリ、秋の詩
	大豆中耕作業	7月中旬～	別途割り当て	
	土手等の除草	7月中旬～下旬	各班割り当て田	水稲田・大豆田(カメ虫対策)
	水稲防除	7月中旬～下旬		カメ虫対策(みずかがみ)

月	作業内容	作業時期	作業担当者	摘要
8	水稻防除	8月上旬	無人ヘリによる散布	病害虫防除協議会に依頼
	大豆防除、除草剤散布	8月中旬	別途割り当て、全員対象	
	土手等の除草	8月上旬～中旬	各班割り当て田	水稻田・大豆田（カメ虫対策）
9	土手等の除草	収穫前適期	各班割り当て田	
	大豆防除	9月上旬	無人ヘリによる散布	病害虫防除協議会に依頼
	水管理給水止め作業	収穫前適期	水管理担当者	暗渠キャップ、止水板、波板の回収・清掃
	水稻収穫作業	8月下旬～9月下旬	別途アンケート方式による作業割当	
	飯米乾燥、調整、引渡し	8月下旬～9月下旬	別途アンケート方式による作業割当	
10	二番苗刈取り	10月上旬		フレールモア作業
	除草剤散布・弾丸暗渠作業	10月上旬		小麦作付予定圃場
	転作田スジ付け、回りスキ	10月適期		小麦作付予定圃場
	回りスキ後の排水作業	10月適期	各班割り当て田	小麦作付予定圃場
	小麦の播種作業	10月下旬	別途アンケート方式による作業割当	
	土手等の除草	10月下旬	各班割り当て田	大豆田・転作予定田
11	耕起作業	11月中旬～	別途オペレーター割当	ディスクロータリーによる
	土手等の除草	11月下旬	各班割り当て田	水稻田・大豆田
12	大豆収穫作業	12月上旬	別途アンケート方式による作業割当	
	土改肥料の施肥	12月中旬	営農部	次年度環境こだわり作付圃場
	大豆収穫作業後の圃場整地	12月中旬～	別途オペレーター割当	廻りスキ、平面耕起

上記作業計画は年間の概要であり、実作業にあたっては農地の状況等を判断しながら、変更及び修正していきます。余裕を持って作業をお願いします。

ほ場周囲の草刈は、前年度と同様に班別で対応するものとし、方法については班に一任します。

（自走式草刈機の使用は、倉庫前のカレンダーに使用予定日を記入して下さい）

草刈時期は組合から指示し、労務費は一元管理、除草剤、混合油は組合で準備、その他の詳細はその都度連絡します。

作業は、単独オペレータ作業以外は複数人数での作業をお願いします。作業後の確認をお願いします。

作業は、常に『安全第一』で実施して下さい。

今年度の作業も無事故で終わるように組合員の自覚と協力をお願いします。

毎年災害報告書の義務が有りますので、災害が万が一あれば営農部まで、必ず報告をお願いします。

農機具・施設管理部

○機械操作・作業等は「安全第一」を最優先し、わずかなミスも許されないため、これまで以上に作業者全員への周知徹底と自覚を促し、いかなる作業も無事故で終わることができるよう、常に作業マニュアルの再確認とミーティング等により安全作業を徹底し、万が一にも業務上過失とならないよう各自が事故防止に努めるよう意識の高揚を図る。

幸いにも、これまで大きな事故は起こっていないが、第三者への損害賠償も発生しており、少しの油断や慣れが重大事故に結びつくことを肝に銘ずる必要がある。

○さらに、すべての機械器具、施設は協働利用、共同の財産であることを認識し、注意義務の散漫による事故を防止するとともに、特に機械は適切な作業手順、および機械の特性やメカニズム等を熟知しておかなければならない。このことから、機械の延命遵守と合わせて正しい使用方法により安全を期すこと、また燃料関係についても慎重かつ適正な取り扱いを行なうものとする。

これらは作業の原理・原則であり、個人の利益より組合の利益を優先する理念のもと、個人の所有物と同様に機械・機具を大切に使うことを全員の共通課題として浸透を図る。

○使用する農機具全般にわたり、支障なく安全に作業ができるよう保守、点検、整備、管理に努め、不都合な箇所については随時修理を行なうが使用中に不都合が生じた場合は直ちに機械部へ連絡するものとする。

しかし、時として不適正な使用をされている場合があり、組合員のお互いが注意しあえる土壌づくり努めるものとする。

○農作業が円滑に行えるよう、代掻き前および水稻収穫後には農業施設、設備、工作物等の補修を定期に行なう。